

みんなの ひろば

新しい雄武駐在所長
羽澤 俊昭さん（末広町2区）



「犯罪・事故の抑止に全力を尽くす」

クローズアップ
まちのひと

今年の4月から雄武駐在所長として勤務している羽澤俊昭さん。（57歳）二立市出身。強い正義感から社会的弱者の方々でも安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献したいと考え、警察官となった。昭和49年に札幌北警察署へ着任。以後、道警本部鉄道警察隊や室蘭警察署などの勤務を経て、このたび、西興部村上興部駐在所から赴任した。日常の業務について「幸いにも、雄武町は事件が少ない

町なので、突発的な事故の抑止が重要だと考えています。そのため、交通量の多い時間帯や人通りが多い場所を重点的に、きめ細やかなパトロールを心がけています。最近、被害が多くなってきた振入れ詐欺の未然防止にも取り組んでいきたいですね」と話す羽澤さん。各学校や長寿クラブなどの交通安全教室や街頭啓発にも積極的に取り組んでいる。「交通事故を減らすためには、歩行者にも注意

していただくことが大切だと考えています。講話をする時には、自動車は思っている以上の速さで進んでいることや運転手から歩行者が見えていないことを、事例を交え、図を使ってわかりやすく説明することを心がけています」と話してくれた。雄武町の印象について訪ねると「海の幸に恵まれ、地域の人たちも気さくで温かい町だと感じています。昔からウオーキングが好きで、休日に宮の森公園や魚田の方まで足を延ばしてみると自然が豊かで楽しいですね。内陸育ちで海へのがれを持っているので水平線の風景がとてもきれいで印象に残っています」と笑顔を見せる。「犯罪・事故の抑止に全力を尽くすのが私の役目。早く地域にとけこんで、町民の方々とともにある駐在所を目指していきます。」と今後の目標を力強く語った。

フレッシュトーク

たくち ともかず
田口牧場勤務 田口 友和 さん



「試行錯誤を繰り返して、成功したときの充実感がたまらなく面白いんです。」
実家の牧場に従事して3年目を迎える田口友和さん（23歳・豊丘）。
毎日の仕事は牛舎の掃除から始まり、給餌や搾乳、繁殖の管理など。「今は牛の世話を任されているので、専門書や酪農家の仲間からのアドバイスを受けながら、自分なりにえさの量や種類を調整しています。自分が手を加えていくことで、乳量や牛乳の成分が目に見えて変化していくんです。失敗することもあるけど成功したときはとてもうれしい

ですね。」
「今は乳価が高くないので多頭化の風潮はあるが、個体ごとの管理体制を強化し、一頭あたりの乳量を増やすとともに、質の高いものを出荷したい」と自説を語る。「もっともっと勉強して、牛に関する知識や技術を身に付けたい。そして、早く一人前になって、親が守ってきた牧場をしっかりと受け継いでいきたい」。今後の目標を語る青年の目がキラリと輝いた。
◆趣味 スノーボード
◆性格 明るい、まじめ
◆好きな女性のタイプ 思いやりのある人

「親が守ってきた牧場をしっかりと受け継ぎたい」

小さな美術館

雄武小学校



→ 「春の美しい風景」



高宮 成生くん（4年）



↑ 「春の池」



石橋 美咲さん（4年）



↑ 「ふきのとう」



神野 聖也くん（6年）



→ 「ふきのとう」



佐藤 優香さん（6年）

わんぱくキッズ

おおきくなったら
～若草保育所～



ドラゴンボールのごくう

たけだ
るくん



ケーキ屋さん

たかみや
りこちゃん



レスキューファイヤー

さとう
たいしくん